会　議　結　果

1　会議等名	平成 24 年度第 4 回伊豆の国市地域公共交通会議
2　開催日時	平成 25 年 3 月 21 日（木）10 時 30 分～12 時 00 分
3　開催場所	伊豆の国市役所長岡庁舎 3 階　第 1・2 会議室
4　出席者	出席委員 14 名 欠席委員 3 名（寺山委員、平野委員、小野田委員） 代理出席 4 名 　伊豆箱根バス株式会社　阿部氏（鬼頭委員代理） 　大仁警察署　秋山氏（比留委員代理） 　国交省中部運輸局静岡運輸支局　古橋氏（村上委員代理） 　県交通政策課　小林氏（宮﨑委員代理） 同席者 　昭和株式会社　都市調査室　小林氏、静岡営業所　田元氏 事務局 　伊豆の国市政策企画課　名波課長、植松係長、塩谷
5　議事	**（1）地域公共交通住民意識調査の結果について** 　事務局及び昭和株式会社より、本年度実施している、地域公共交通基本計画の策定に向けた調査（地域公共交通住民意識調査）について、集計結果を資料№1 により説明。 **委員：** 　他市町でよくある例で、アンケート結果による不満な点を一つずつ解消しようとして結果的に失敗する例がある。アンケート結果にもあるがバスのことをよく知らない人は多い。バスを知らない人が使わない理由はこのアンケート結果には出ていないと思う。性急な対応をせず、公共交通について地域住民に伝えることから始めてほしい。 **（2）平成 25 年度以降の協議予定について** 　事務局より、平成 25 年度以降における本会議の協議予定について、本会議設置から現在までの開催状況と、新規運行、継続運行、路線退出等に必要な協議スケジュール案を、資料№2-1～2-3 により説明。 **（3）意見交換** **委員：** ＊事業者単独又は事業者と行政の協議だけで公共交通に取り組んできたツケが利用者減少という形で表れているのではないか。利用者や地域の意見を積極的に取り入れていきたい。

	＊高齢化の進展や環境への影響等から考えると、今後はバスの必要性も高まるのではと考えている。どうしたら乗ってもらえるのか考えなければならない。 ＊タクシーはバスと異なり乗合行為ができないとか 1 台当たりの乗車人数が少ない等の課題があるが、地域の公共交通に貢献できるようタクシー事業者としてできることを提案していきたい。 ＊バスを運転していると利用者や地域の方と直接会話する機会も多い。伺った利用者や地域の方の意見をこの会議でも取り上げていければよいのではないか。 ＊今までの会議では運行を絞る、止めるという暗い議題ばかりだった。盛り上げるような明るい議題があってもよいのでは。 ＊アンケート調査は回答者が気楽に回答してしまう感がある。的確なニーズの把握が必要。 ＊アンケート結果でも交通について将来に不安を感じているという回答が多かったが、今のバスをどうするのか、そして、今後の利用が見込まれる若い世代の人たちへの対応についても考える必要があるだろう。 ＊自動車運転免許を返納したいと言う方は増えているが、返納したくても公共交通を始め他の移動手段がないためにやむを得ず自分で運転せざるを得ない人もいるので、公共交通の潜在的な需要はあるのではないか。 ＊公共交通を維持していくためには地域負担や受益者負担等についても検討が必要。
7　懸案事項	特になし